

22日のイタリア戦後にロッカールームを掃除するナミビア代表＝花園ラグビー場（JR2019提供）



ラグビーのワールドカップ（Ｗ杯）日本大会で、使用したロッカールームを自主的に掃除するチームが出てきている。日本の清潔さを知って実施するチームも。海外チームが試

合後に行う「おじぎ」は日本大会でおなじみになりつつあるが、開催国に感謝の気持ちを込めた掃除も広がる可能性があるそうだ。

ミビア戦後、敗れたナミビアが「ほうきを貸して」と関係者に頼むと、勝ったイタリアもほぼ同時に「僕らにも」と依頼。選手がロッカールームの床に落ちた芝などを集め、きれいにしていた。イタリアのミケレ・カンパニャーロは「普段はやりたりやらかつたり。日本人はいつも親切に助けてくれて、きれいにしている。感謝を示す一つの方法」と説明した。

試合でも行う。日本はラグビー代表が行っており、サッカー代表でも2018年W杯ロシア大会でロッカールームを清掃していることが話題になった。イングランドのルアリド・マコノヒーは「他の国際大会でもそうだが、日本はロッカールームをきれいな状態にして出ていく。私たちも同じことをしようと思う」と話した。

2019
ラグビーW杯
日本大会

日本の清潔さも影響

広がる

各国代表、ほうき借り自主的に

2018年
9月26日
夕刊

① ラグビーワールドカップでほうきを借りて自主的にロッカールームの掃除をしているのは、どの国の代表か。記事に書かれている日本以外の掃除をしている国をすべて書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

② 記事には、掃除のほかにも、試合後に行う「日本らしい行動」について書かれている。その行動は何か、ひらがな3字で書きなさい。

--	--	--

③ 記事の見出しの□には、どのような言葉を入れたらよいか。問①と問②にある行いの目的をふまえて、ふさわしい言葉を考え、8字以内で書きなさい(句読点は付けない)。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

年 組 名前